

式辞

本日ここに、平素より本校を愛し、御支援をいただいております、本校ゆかりの御来賓の皆様、御臨席をたまわり、また、今日のこの佳き日を心から喜んでいらっしゃる保護者の皆様の御同席を得て、入学式を挙行できますことを、新入生とともに職員一同、厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました全日制278名、定時制6名の新入生の皆さん、御入学、誠におめでとうございませう。保護者の皆様、お子様の御入学を心からお祝い申し上げます。

本校は、明治17年に設置された長野県中学校に由来し、明治32年に長野県立長野中学校として独立して5年間の課程を備えてから、124年の伝統を培ってまいりました。この学び舎を巣立った諸先輩方は日本のみならず世界の各界で活躍されています。それは本校での学びが学習面だけにとどまらない豊かな環境が用意されているからです。

また、定時制は70年を超える歴史をもち、多くの卒業生と生徒を擁していますが、一人一人の生徒の希望により沿う、丁寧できめ細やかな指導で広く定評のあるところだす。

私たちはこれまで新型コロナウイルス感染症の拡大から、大きな影響を受けましたが、本校ではいち早くICT利用を進め、オンライン学習の先行実施など、このような状況においても学習面での保障ができる体制を整えたことは全県の注目を集めました。また、学校行事・生徒会行事などは、アイデアを出し合いながら、できる限り実施できるようにしてまいりました。

あらゆるものが制限され、絶縁された日々を送ってきましたが、その中でもただやめるのではなく、新しい方法がないか常に考え続ける。むしろ、何もあきらめない。大きな力に翻弄されるだけではなく、どうしたらよいのか、何ができるのかを常に問いかけながら生きていく、そんな新しい生きる力が、コロナ渦をやりすごしたときに、私たちには宿っているのではないかと期待します。

「星の王子様」で有名なサンテグジュペリの言葉に「良い船大工を育てるなら、広大な海への憧れを教えると良い」というものがあります。骨身を惜しまず、主体的に、あらゆる工夫を試しながら優れた船の建造に心から没頭する、本当に良い船大工を育てたいなら、船の仕組みや材料の良しあしの知識を教え込むよりも、未知なる異国と行きかい、無尽の可能性が潜む、広大な海への憧れを教えることこそ一番の近道だということです。「良い船大工を育てるなら、広大な海への憧れを教えると良い」という言葉は、若者が夢やあこがれを抱くことの重要性を示しています。

しかしながら、世界はグローバル化し、社会が複雑さをますその一方で、自分の嗜好に合

うものだけを選んで手元に置き、自分の興味関心のみにまかせてネットを検索するために、生活の中で異質なもの、新奇なものに接触する機会が減っています。

そのような日常の中で、コロナ禍におそわれ、自分の立場だけを優先して考えたり、異質なものを遠ざけよう、排除しようとしたりして、多様な価値観を受け付けない風潮が生まれ、自分のために都合よく純化された環境しか見ていない傾向が現在世界のあらゆるところで顕在化しつつあるように私は感じます。

大人は「夢をもちなさい」と比較的簡単に若者に言いますが、変化の激しい不確実性の時代にあって、具体的に夢をもつことはますます難しくなっていると思います。

一体、あこがれはどのように人の心に宿るのでしょうか。

「夢」は、意識的に選び取ったり、自律的な思考ののちに論理的に構成されるものではなく、何かを糧としながら、むしろ無意識のうちに自然に自覚しているものではないでしょうか。

私は夢の源となるものは「深い感動」だと思います。たとえば、芸術が表現する想像を絶する美しさ、自然や文化財の圧倒的な偉大さ、人の話を聞いた時の深い感銘、そういうものに人は心を動かされ感動します。また、人が何かに取り組む真剣な姿をみても心を動かされます。自ら身も心も一筋に何かをやり遂げたという体験からも深い感動がもたらされます。そうして得た「深い感動」の断片が心の中に蓄積していき、「私は将来これをしてみたい」とあなたに言わしめる、夢の材料に成長するのです。

「夢」を皆さんの心に育むために、皆さんは、この3年間あるいは4年間に、広く世間や社会、または隣人に目をむけ、感動が残す物質を胸に多く蓄積してほしいと願います。

保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございます。

お子様がたが、たくましく成長し、高校生らしく変身した姿をご確認ください。これからの3年間ないし4年間の生活の、今日は出発点を迎えるわけであります。長野高校が真の意味でその真価を発揮するためには、学校・家庭・地域が課題を共有できるということが大切です。そのために、学校は常に情報をしっかり発信し、保護者・地域の皆様のご意見をよく伺いながら、安全安心な学校の建設と教育を進めていく必要があると考えております。ご協力を賜りたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

最後に、本日入学した生徒諸君の高校生活が充実したものになるよう重ねて祈念し、合わせてご臨席の皆様へ篤く御礼申し上げ、式辞といたします。

令和5年4月6日 長野県長野高等学校長 廣田 昌彦